

「全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会」も開幕!

鳥取で伝統の夏を過ごす

東西に広がる鳥取県では、地域によってさまざまな夏の過ごし方があります。今回は東部と西部から、特色や歴史のある夏祭りや併せて訪れたい周辺スポットを紹介。その土地の自然や文化に触れながら、伝統の夏を過ごす旅の提案です。



(写真右上から時計回りに)長さ120cm、直径80cmの大傘を回して踊る「鳥取しゃんしゃん祭」は午後4時～9時(予定) / 一晩で1万2000人も集まる「江尾十七夜」/ 金持神社と、開運グッズのキハダ染めの黄色いハンカチ(1000円)、お礼参りの絵馬 / 夏の大山と、「大山ペンション村」の入り口

アクセス / 【鳥取市街】電車…JR名古屋→(新幹線)→JR姫路→(スーパーはくと)→JR鳥取(約3時間20分) 車…一宮IC→(名神高速道路→中国自動車道)→佐用JCT→(鳥取自動車道)→鳥取IC下車(約340km) 【江府町】電車…JR名古屋→(新幹線)→JR岡山→(特急やくも)→JR根雨→(伯備線)→JR江尾(約4時間) 車…小牧IC→(名神高速道路→中国自動車道)→落合JCT→(米子自動車道)→江府IC下車(約380km)

傘4000本!?「鳥取しゃんしゃん祭」
鈴の付いた傘をくるくる回しながら練り歩く、浴衣やはっぴ姿の踊り子たち。鳥取駅前の目抜き通りも、この日ばかりは踊りの舞台。いずれも毎年8月に行われる「鳥取しゃんしゃん祭」の光景です。
同祭の傘踊りは、同県東部に伝わる「雨乞いの奉納祭事」を大衆化したもの。祭りの名前は傘を回すことで鳴る鈴の音「シャンシャン」と、全国でも珍しい県庁所在地に温泉が「しゃんしゃん」と湧き出ることに由来、今や県内外から100以上の連が参加する国内最大級の傘踊りとなりました。今年50回目の記念大会。8月14日(木)に開催の「一斉傘踊り」では、約4000人の踊り子による圧巻の舞いに一層力が入ります。
東部を訪れたら外せないのが砂の美術館。「砂で世界旅行・ロシア編」を開催中で8月13日(水)～30日(土)は、3Dプロジェクトシオンマッピングも行われます。

500年の歴史!「江尾十七夜」
秀峰・大山(だいせん)の夏の姿が美しい西部では、南側の麓の日野郡江府(こうふ)町という小さな町が目的地です。市街地にあたる江尾(えび)地区では毎年旧盆の8月17日の夜に「江尾十七夜」が行われ、その歴史は何と500年。戦国期の城主が盆になる

この夏から始まるイベントもチェック!
「全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会」
手話を言語として位置づける、全国初の条例を制定した鳥取県。7月12日(土)～11月3日(月・祝)は「障がいを知り、共に生きる」をテーマに同イベントを開催。その中から注目コンテンツをピックアップして紹介します。詳細は同大会実行委員会事務局(電話0857・26・7157)へ。

8/9(土)
「瑞宝太鼓」

映画「幸せの太鼓を響かせて」のモデルとなった知的障害者によるプロの和太鼓集団「瑞宝太鼓」が、倉吉市に登場。圧巻のパフォーマンスを見せてくれます。この他、地元「打吹童子ばや」との創作太鼓、映画の総指揮を担当した細川佳代子さんのトークショーなども行われます。「倉吉未来中心」小ホールで正午～午後5時。



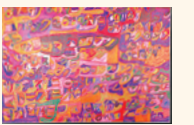
全国的に知られる「瑞宝太鼓」のステージは必見しとの創作太鼓、映画の総指揮を担当した細川佳代子さんのトークショーなども行われます。「倉吉未来中心」小ホールで正午～午後5時。

9/6(土)～11/3(月・祝)
「アール・ブリュット展」

文化や流行にとらわれず、表現したいという心のままに作られる「アール・ブリュット」の作品展。9月6日(土)の米子市に始まり、倉吉市、鳥取市と県内を巡回します。1つの県を巡回するのは国内で初めてです。

10/25(土)～11/3(月・祝)
「国際障がい者アート展」

県内外、海外からも障害者による美術作品を募り、鳥取県立博物館に一堂に展示します。現在、美術、文芸、漫画まで幅広く作品を募集中。11月1日(土)に優秀作品の表彰式も行います。力強くも優しい作品がそろ



力強くも優しい作品がそろ

と城を町民に開放し、無礼講の祭りを催したのが始まりとされ、特に当時から今に伝わる「こだいち踊り」は同県無形民俗文化財にも指定された、祭りのシンボルです。他にも、山の斜面に浮かぶ「十七夜」の火文字や間近で打ち上がる花火、通りに軒を連ねる露店…。

小さな町に訪れる伝統の夏の風景に、今年も溶け込んでみませんか。大山が望める所に来たのなら、宿泊先は麓の伯耆(ほろき)町はどうでしょう。例えば「大山ペンション村」には、16軒のペンションが点在。大山の麓で涼をとるのも、鳥取では夏の伝統的な過ごし方なのです。江府町を南に行った日野町には、金持と書いて「かもち」と読む金持神社があります。金運を求め全国から参拝客が訪れ、中には宝くじの高額当選のお礼参りに来る人も。札所では開運グッズを販売。西部で過ごす伝統の夏は、開運の夏を加えても良いかもしれません。



江府町のソウルフード 大山おこわ

江尾十七夜が行われる江府町の家庭の味「大山おこわ」。もち米に鶏肉、ゴボウ、ニンジン、くりなどをまぜて蒸し上げた一品です。100年以上続く味を守る米子屋旅館など、町内の旅館で楽しめます。

問い合わせ

ふるさと鳥取県産業・観光センター(中区栄4-1-1 中日ビル4階 / 電話052・262・5411)
<http://www.pref.tottori.lg.jp/nagoya/>

中日新聞社発行「ショッパー」掲載(2014年7月3日号)